

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」三条校		
○保護者評価実施期間	2025 年 11 月 24 日 ～ 2025 年 12 月 20 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025 年 11 月 24 日 ～ 2025 年 12 月 20 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026 年 1 月 9 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	きらりでは支援の一環として保護者とのフィードバックを実施し、保護者の方との共有の場を提供しています。保護者同意の上相談員の方にも共有し、場合によっては関係機関との検討の場を設けて頂く場合もあります。	ご家庭での困り感をお伺いする事も勿論ですが第三者的な立場として保護者の方に気付きを持って頂けるような視点でお子様の状況を説明・アドバイスをしています。	ご指摘にもありますがご相談して頂く声が漏れてしまう事を完全に防ぐことが出来ておりませんでした。スペースの関係もありますが、周りの配慮も行い、プライバシー・秘匿性の観点から相談内容が聞こえ漏れしない様事業所内で配慮を行っていきたいと思います。
2	保護者会の実施。	お困り感が強くなる時期も考慮し（特に就学先に悩まれている時期など）、同じ年代・お悩みが似ている方などお話が共有出来やすい方向士で予定を組める様ご案内しています。また先輩保護者様をお願いをし、同じ経験をしてきた目線で体験談をお話頂く機会を作ったりと勉強会に近い内容などバリエーションを多く持たせております。	お母さんの保護者会だけでなくお父さんの保護者会も検討し、実施していけるよう調整しています。
3	LINEの活用	きらりとしてLINEを使用し保護者の方にご登録頂き、全体発信を行っております。全ての保護者に一律に情報が行き渡る事と欠席や予定の確認が24時間受け付けられる点で早期の予定把握に活用しています。お仕事・家事等で開講時間内にご連絡出来ない方にとっても空いた時間にご連絡頂けるメリットがあります。	LINE電話等を活用しオンラインでの相談等の拡充ができればと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	衛生面で不十分な部分があった。	感染症拡大防止の為、換気・消毒は支援毎に徹底しておりますがトイレ等の衛生面において1日1回の清掃をしておりましたが点検の中身の徹底が出来ておりませんでした。	清掃工程を改めて確認し、1日の中で複数回確認・追加清掃が必要な場合は清掃を行い、気持ちよく使用して頂くよう対応致します。
2	スペースに限りがある	机上課題を中心に静的活動の取り組みの為、広すぎず狭すぎずのスペースを確保しています。お楽しみや少し動的活動を行うとなると手狭に感じる部分もあるかと思っています。	安全確保の観点から、お楽しみに関しましてもスペースに合った活動を行っています。（ボードゲームやカードゲーム等）広く取れるスペースを取れる場所もありますのでその際は広めのスペースを確保できる場所で支援を行います。特に多動傾向のあるお子様に関しては予め広めのスペースを確保し支援を行う等状況に応じて対応しています。
3	避難訓練を行っているが全員に対応する事が難しい。	1時間でお子様切り替わるので全体での避難訓練が難しく、時間帯によっては対応が難しい日もあります。そういった事から別の週で対応するケースも多くあります。	父母の送迎が難しい場合は祖父母での送迎もお受けしております。祖父母の場合でもフィードバックの内容はお伝えしますが、その場合は父母の方へLINEでも支援の様子をお伝えしています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」三条校					公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		お子様の状況・状態に合わせた配慮を行っています。	法令を遵守したスペースを確保しています。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		お子様との1対1の支援を行っています。	1対1の個別支援での支援低位共形態を取っておりますのでそれに準じた配置を取っております。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子様の特性・目線に合わせ安全に支援に取り組める環境整備を行っています。	安全配慮を最優先に支援環境の整備を行っておりますので安全点検・消毒・換気なども毎日行っています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		支援毎の切り替え時に消毒を徹底しております。	毎日の消毒・備品の安全点検を徹底しております。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		提供形態として個別の空間で支援を提供しています。お子様の刺激や情報過多を防ぐため支援空間には掲示物を貼らない等配慮しています。	提供形態として個別の空間で支援を提供しています。またお子様の特性に応じて刺激や情報過多を防ぐため支援空間には掲示物を貼らない等個々に配慮しています。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		疑問点があれば職員同士で共有し、ケース会議等で全体方針の決定・共有を行っています。またケース会議も定期開催しており情報の漏れをなくし、情報共有・改善に努めています。	月に2回～4回のケース会議の実施・緊急時は早急にケース会議を実施しています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		頂いたご意見を基に事業所内で検討を行い業務改善に繋げています。	頂いたご意見を基に改善すべき点に対して迅速に対応しています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		出た意見を取りまとめ全体共有すると共に改善が必要な点の話し合いを行っています。	頂いたご意見は直ぐに共有し、優先順位を付けながら出来るところから改善に努めています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	社内・保護者様の二者評価の実施をしております。	個々のお子様の状況に応じて対応を行い、支援計画に位置付けた上で実施しております。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修を順次実施・参加し資質の向上に努めています。	社内研修・事業所内研修を実施し、個々のスキルアップが見込まれる環境設定を行っております。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		お子様・保護者のご意向も踏まえ、事業所としての支援プログラムを作成・公表しています。	分かり易さも重視しながら見直しを持ったプログラムを作成しています。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		利用前に事前面談・体験を通して保護者の方のご意向・お子様の特性・傾向を把握しています。事業所全体でお子様への支援方針を決め、担当者会議での総合的な方針を踏まえた上で個別支援計画を作成しております。	作成した上で保護者の方へは分かり易く・かつ明確な目標を立てた上でお示ししています。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員それぞれの見立て・見解を基に事業所全体としてよりよい療育を提供できる様検討会議を行っています。その中で職員一人一人の見解を尊重し、総合的な判断を行い、作成しています。作成した計画も全体で共有し相違がないよう確認しています。	職員の個性や意見も取り入れながら常に良い試みが取れるよう職場環境にも配慮しております。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		事業所内でも定期的に支援計画の確認を行っています。	個々のお子様に個別支援計画を策定し、それに沿った支援を提供しています。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の支援記録等とも照らし合わせながら都度状況に応じて話し合いの場を持つ	計画期間ごとにアセスメントを実施し、計画を策定しています。また統一したアセスメントシートを使用しています。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		お子様の状況・特性に合わせた支援プログラムを設定しています。また支援後にフィードバックの時間を設け、必要時では個別で相談対応を行っています。またその上でお子様のご様子や取り組みへの意欲等も総合的な判断し、都度適切な支援提供に努めています。	保護者の方から頂いたご意見も踏まえながら支援内容を検討し実施しております。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ケース会議を定期的に行い、支援内容の経過を確認しながら全体でプログラムの骨子を立案・確認を行っています。	引き続き、定期的にケース会議等を行い質の向上を図ります。				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援内容がマンネリ化しないよう、指導員を固定せず、様々な指導員との支援での関わりを行っています。	全体で共有していく中でお子様が飽きず意欲的に取り組める活動を提供しております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本形態は個別となりますが祝日などに集団イベント企画を立案し支援を行っています。集団の中で見られた行動面等を事業所内で話し合い、個別支援に活かしています。	事業所全体での振り返り・アセスメントを元に、優先順位をつけて短期目標と長期目標を設定し計画を策定しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		基本形態としては個別支援ですが職員が担当制でない為事前に引き継ぎ等は確実に行い、連携した支援提供を行える体制を取っています。	勤務形態がシフト制である為、情報漏れがないよう社内共有アプリケーションを使用し全体共有を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		礼・夕礼を確実に実行し共有しています。情報漏れがないよう記録等を取り全体確認しています。	勤務体制上、シフトでお休みを頂いておりますので社内アプリケーションに記録し共有漏れを防いでおります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		社内共有アプリケーションを使用し、必ず記録を取り、全体で確認が出来る様取り組んでいます。必要時は記録を基に話し合いを行っています。	日頃から細かな気づきを話し合い改善に繋げていけるよう風通しの良い環境設定を努めております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に1回は必ず保護者の方と振り返りの場を持ち、ニーズに沿った支援計画を作成しています。	ケースによっては評価時期を早め、短いスパンでモニタリングを行い計画更新を行う場合もあります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者をはじめ、主になり職員が参加し、事業所の状況を確認してお示ししています。	全体共有・全体把握を都度行っている為、どの職員もお子様の状況を的確に把握しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要なケースに応じて包括的な支援提供を行えるよう関係機関とは連携を図っています。	必要なケースに応じて全体共有の場合へは積極的に参加し、連携強化を図っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		支援者間で支援の方向性・関わり方に相違がないよう、情報共有を行っています。	お子様視点に立ち、スモールステップでの取り組みの中で成功体験を積み重ねられるよう関係機関とも連携を図っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		関係機関との共有の場の中でお子様の状況を共有し相互理解を図っています。	共有の場だけでなくケースに応じて電話等で学校との連携を図る場合もあります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		ケースに応じて支援センターとの連携を図り助言を求める場合もあります。またその環境を整備しています。助言を受けるにあたり、円滑にやり取りが行えるよう、事業所の取り組み等を都度お伝えするなどしてお互いの関係性を大切にしています。	どの職員でも関係機関との連携が行えるよう地域の社会資源も含めた勉強会を行っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		事業所の提供形態上実施できておりませんが、個々のお子様の状況に応じて、必要があれば計画に位置付けた上で実施を検討します。	個々のお子様の状況に応じて、必要があれば計画に位置付けた上で実施を検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバックを支援毎に行い、保護者の方と相互共有・相互理解を図っています。	信頼関係の構築も含め保護者の方へ安心感を持ってお話し頂けるよう努めて参ります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援後のフィードバック時に困り感などご談を伺い、適時アドバイスを行っております。	保護者視点に立ちながら常に先の提案が行えるよう努めて参ります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定、利用者負担について、分かり易く、かつ丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。	管理者だけでなく職員でも同様の対応が出来る様事業所内で勉強会を行っています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成前にモニタリングを行っております。保護者ニーズとお子様の現状を踏まえ作成しています。	事業所全体でも達成できる課題から見通しを立ててご説明できる様作成会議にて確認・検討を行っています。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		具体的な支援内容については、個別支援計画の提示、面談時にご説明し、同意を得ています。	ご不明な点があれば都度ご説明させて頂ける体制を整えています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後のフィードバック時に困り感など談を伺い、適時アドバイスを行っております。	フィードバックでもお話を伺っておりますが、状況に応じて別途時間を設けて相談を伺う時間を設けています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		感染症の状況を見ながら保護者間での共有の会を開催しています。様々な市町村からお越しになる為、各地域の状況を見ながら慎重に検討します。兄弟児の支援等もご意向に応じて検討して参ります。	時期に則した内容・お困り感やお子様のご年齢等を合わせてお声がけするなど保護者の方にもより良い繋がりを感じて頂けるよう配慮しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		フィードバックを通じ、ご相談のご希望がありましたらご案内しています。	状況に応じて迅速に対応しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ご利用の保護者の方へはLINE登録を行って頂き、その中で各種連絡事項・イベントの案内を行っています。イベント内容にしましてはInstagramを使用し既存の方のみならず外部向けにも発信しています。	適時ニーズ等も把握しながら発信の仕方などもマンネリ化させず通所満足度を高めている取り組みを行って参ります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど適切な対応を行っています。また、フィードバック時に家庭の状況が他の方へ聞こえない様個別スペースでお話をお伺いしています。	個人情報の取扱いにしまして紛失等がないか都度点検を行っております。また、取り扱いについても定期的に全体発信にて注意喚起を行っています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		フィードバックを都度行っており意思疎通を図っております。	フィードバックを通し信頼関係を構築しながら安心してやり取りが出来る環境を作っております。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		事業所の形態上、地域の方との交流の場を設ける事が難しい状況です。	必要に応じて開催を検討します。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、事業所全体への周知・保護者説明も行っております。訓練におきまして年間計画を作成し、訓練を実施しております。	シフト勤務の為、全職員が参加出来る様同様の内容を月で2回実施しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年間計画を策定し、それに則した形で月に1度訓練を実施しています。	訓練のお子様の参加につきましては1時間でお子様が入り替わる為、全体での訓練が難しい状況です。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		医療スタッフがない為、万が一の場合、現場での緊急対応に限りがあります。てんかん等につきましては事業所内で研修を行い、対応等、事業所で行える対応を確認しています。	事前にアセスメントを行い状況把握に努めています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		基本的に飲食の提供を行っておりませんが事前にアセスメントにて把握に努めています。	情報等をフィードバックで確認しながら把握に漏れないよう努めています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年間計画を策定し、それに則した形で月に1度、確認・点検を実施しています。	不備がある場合は管理会社に報告・迅速な対応を行います。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に重要事項説明書を基に緊急時の対応、災害時の避難場所等の説明をしております。また緊急連絡先の確認を事前に行っております。	アセスメントを行っておりますので都度連絡先等に変更がないか確認を行っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの事案があった場合は速やかな報告・緊急ケース会議を行い再発防止策を協議し、実行しています。	全体共有・また月に1回ケース会議にて事象案件がなかったか確認しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		委員会の設置と委員会で話し合った事を事業所で共有しています。事業所での対応策、または該当市町村への報告等の確認を実施しています。	事業所での対応策、または該当市町村への報告等の確認を実施しています
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		委員会の設置と委員会で話し合った事を事業所で共有しています。事業所での対応策、または該当市町村への報告等の確認を実施しています。	事業所単位でも対応策や起こりうる事案を想定し、保護者への説明を行っています。

公表日

2026年2月15日

事業所名

こどもサポート教室「きらり」三条校

利用児童数

27

回収数:

27

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	7	0	0	別室で療育している方の会話やお子さんの様子が見えることがあります。幸い、本人はほとんど気にせず楽しんで療育させてもらっていますが、中には会話や子どもの様子を聞かれないと気にされる方もいられるのではないのでしょうか。	保護者の方のプライバシーの観点からフィードバックの場所など考慮できる様対応致します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	2	0	0	予約が取りづらいです。平日は仕事をしているため土曜日や仕事終わりの夕方に予約を入れたいですが、全てうまっている状態です。母親の私が毎回子どもの様子を先生にお伝えしたりお話をしたいですが、休みが取りにくく、一緒に暮らしていない祖母にお願いしています。職員の人数が増えることで、少しでも予約が取りやすくなったりしないでしょうか。	適正な人員配置等も行っておりますが皆様に偏りなくご案内できるように対応して参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	3	1	2	はい、の回答がつけられなかったです。配慮をとってもらっています。	お子様の療育において楽しく取り組んで頂くために環境設定・安全配慮を行っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	5	0	0	以前、室内に蟻がたかっているのを見ましたトイレの掃除がもう少し…と感じます。	清掃等不十分な箇所があり申し訳ございません。清掃等定期的に行っていくよう改めて対応して参ります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1	1	0		アセスメントを基にお子様の特性面の理解・環境設定の配慮を行っています。また都度ケース会議等を行い、状況に合った支援内容を画策しています。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1	1	0		お子様・保護者のご意向も踏まえ、事業所としての支援プログラムをご提示しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	24	2	0	1		利用前に事前面談・体験を通して保護者の方のご意向・お子様の特性・傾向を把握しています。事業所全体でお子様への支援方針を決め、担当者会議での総合的な方針を踏まえた上で個別支援計画を作成しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	3	0	2		ガイドライン総則に記載されている基本活動を理解し、事業所での活動に落とし込み、支援内容を策定しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	2	1	0		達成できる課題を明確に提示し分かり易く、見通しが持てる計画を策定しています。また、保護者の方にフィードバック等で様子をお伺いしながら、お子様に合った支援提供が行えるよう事業所全体で取り組んでいます。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	3	0	0		ケース会議を行う中で支援に対して方向性の確認を行っています。またお子様が興味を持って取り組める様支援内容も継続性を持たせられるよう配慮しております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	7	10		現在のところ、ご意向を頂戴しておりませんが必要に応じて検討して参ります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	0		運営規定、利用者負担について、分かり易く、かつ丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。具体的な支援内容については、個別支援計画の提示、面談時にご説明するとともに毎回の支援後に保護者の方とのフィードバックの時間を設けています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0		支援毎にフィードバックの時間を設け、保護者の方に説明を行っております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	2	3	3		お子様への適切な関わり方は保護者参加型の支援内容も行い実践的なアドバイスも行っております。情報提供に関しましては行政・教育機関との連携を図りながら必要に応じて対応しております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	1	0	0		支援毎のフィードバック等で情報共有を行っております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	1	0	0		フィードバック時に困り感も含めてお話をさせて頂いております。また、ご意向も含めまして別で相談対応も行っております。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	1	0	1		お子様・保護者様に寄り添う形で支援提供・相談、助言等を行っております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	7	3	5	兄弟向けの支援をされたことはない	感染症の状況を見ながら保護者間での共有の会を開催しています。様々な市町村からお越しになる為、各地域の状況を見ながら慎重に検討します。兄弟児の支援等もご意向に応じて検討して参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2	0	2		フィードバック時に困り感も含めてお話をさせて頂いております。また、相談に関しましては緊急性・切迫性に応じて迅速に対応しております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	0	0	0		お子様・保護者の方の要望・状況に応じて、ICT やその他視覚的情報を活用して意思疎通・情報伝達等を実施しています。また、合理的な配慮に関するハンドブックを作成するなど、合理的配慮の推進についても尽力しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	3	0	3		ご利用の保護者の方へはLINE登録を行って頂き、その中で各種連絡事項・イベントの案内を行っております。またイベント内容に関しましてはInstagramを使用し既存の方のみならず外部向けにも発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	0		個人情報の記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど適切な対応を行っています。また、フィードバック時に家庭の状況が他の方へ聞こえない様個別スペースでお話をお伺いしております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	3	0	4		各種マニュアルを作成し年間計画に準じて訓練を行っておりますが、1時間での支援提供が全ての方への対応が難しい状況です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	4	0	6		年間計画を策定しあらゆる災害を想定し訓練を実施しておりますが1時間での支援提供が全ての方への対応が難しい状況です。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	3	0	2		事業所の安全を確保する為、事業所内の設備点検を全体で行っております。また事業所外の周辺情報におきましても定期的に確認を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1	0	4		契約時でのご説明と契約書類にも記載し緊急連絡先の把握も行っております。速やかな連絡・状況説明を徹底しております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	0	1	0		お子様・保護者の方に寄り添い、まずは安心して療育を行えるよう職員との関係作りから行っております。環境設定にも配慮し安心して過ごせる空間を提供しており
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	2	1	0		お子様の興味事を通して通所意欲が持てるよう支援内容に配慮を行っております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	5	1	0	先生方皆さんとても熱心で子供に向き合って下さり、私の相談にも色々乗って下さりと本当にいつも感謝しています。通いたい人はもっとたくさんいると思うので、事業所がもっと増えたらいいのにと願います。	お子様・保護者の方にご満足頂ける療育をご提供できるよう事業所全体で取り組んでおります。